

各都府県警察が情報発信している防犯情報の例

- ・ 在宅時でも施錠するなど、戸締まりを徹底すること
- ・ 訪問者に対して不用意にドアを開ける前に、まずドアスコープやインターフォン越しなどで確認すること
- ・ 対応する際も、インターフォン、ドアチェーン、ドアロック越しに対応すること
- ・ 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認すること
- ・ 電話等で在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えないこと
- ・ 自宅に必要以上の現金を置かないこと
- ・ 不審を感じた場合には、ためらうことなく110番通報すること
- ・ 防犯性能の高い建物部品（錠、ドア、ガラス、防犯フィルム、シャッター等）を活用すること
- ・ 防犯設備機器等（防犯カメラシステム、センサー付きライト、テレビ付きインターフォン等）を活用すること